

令和元年度
統一的な基準による
須賀川市の財務書類

貸借対照表
行政コスト計算書
純資産変動計算書
資金収支計算書

令和3年3月

須賀川市

目 次

地方公会計制度について	1
一般会計等財務書類	
貸借対照表	3
行政コスト計算書	4
純資産変動計算書	5
資金収支計算書	6
注記	7
全体財務書類	
貸借対照表	12
行政コスト計算書	13
純資産変動計算書	14
資金収支計算書	15
注記	16
連結財務書類	
貸借対照表	20
行政コスト計算書	21
純資産変動計算書	22
資金収支計算書	23
注記	24
財務書類の科目説明	28

地方公会計制度について

1 これまでの経緯

現在の地方公共団体の会計は「現金主義会計」であり、これまでに整備した社会資本（資産）の施設ごとの状況や、今後返済すべき地方債等（負債）の残高などのストック情報が分かりにくいという側面があったことから、総務省からの指針に基づく「総務省方式改訂モデル」、「基準モデル」や地方公共団体ごとの独自方式である「東京都方式」など複数の方式により財務書類が作成されてきました。

このため、地方公共団体間の比較が難しいことや、「総務省方式改訂モデル」では固定資産台帳整備が必須ではなく、決算統計によるデータを活用した簡便な方法による作成方法が主流となっており、全国的に本格的な複式簿記・発生主義の導入が進まない状況のなか、平成 27 年 1 月に総務省から「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」の通知があり、平成 29 年度までにすべての地方公共団体が「統一的な基準」により財務書類を作成することになりました。

本市では、平成 19 年度決算から「総務省方式改訂モデル」で作成した財務書類を公表していましたが、平成 28 年度決算から「統一的な基準」により財務書類を作成しています。

2 「統一的な基準」と「総務省方式改訂モデル」の違い

「統一的な基準」と、本市がこれまで作成してきた「総務省方式改訂モデル」を比較すると、大きく 3 つの変更点があります。

	「総務省方式改訂モデル」	「統一的な基準」
①発生主義・複式簿記の導入	決算統計データを活用して財務書類を作成	発生の都度または期末一括での複式仕訳（令和元年度決算は期末一括仕訳）
②固定資産台帳の整備	固定資産台帳の整備が必ずしも前提とされていない	固定資産台帳の整備を前提とすることで公共施設等のマネジメントにも活用可能
③比較可能性の確保	基準モデルや総務省方式改訂モデル、その他の方式（東京都方式など）が混在	統一的な基準による財務書類などによって団体間での比較が可能

3 財務書類の対象となる会計等の範囲（令和元年度決算）

財務書類の作成対象会計等の範囲は、次のとおりです。

区 分		対象となる会計・団体	作成する財務書類	
一般会計	普通会計	一般会計 市営墓地事業特別会計	↓ 一般会計等財務書類	↑ 全体財務書類
	地方公営事業会計	国民健康保険特別会計 介護保険特別会計 後期高齢者医療特別会計		
	うち 公営企業会計	特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計 水道事業会計		↑ 連結財務書類
一部事務組合・広域連合		公立岩瀬病院企業団 須賀川地方保健環境組合 須賀川地方広域消防組合 福島県市町村総合事務組合 福島県市民交通災害共済組合 福島県後期高齢者医療広域連合		
第三セクター等		(公財)須賀川市スポーツ振興協会 (公財)ふくしま科学振興協会 (公財)須賀川市農業公社 (株)こぶろ須賀川		

※ 下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、勢至堂簡易水道事業特別会計については、令和2年度までに地方公営企業法適用となるため対象外としています。

須賀川市
一般会計等貸借対照表
(令和2年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	163,346,030	固定負債	39,281,682
有形固定資産	153,696,193	地方債等	35,657,353
事業用資産	88,981,170	長期未払金	-
土地	36,300,521	退職手当引当金	3,624,329
立木竹	87,483	損失補償等引当金	-
建物	86,215,238	その他	-
建物減価償却累計額	△ 36,230,011	流動負債	3,715,451
工作物	9,862,784	1年内償還予定地方債等	2,980,594
工作物減価償却累計額	△ 8,549,788	未払金	2,428
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	355,973
航空機	-	預り金	376,456
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	-	負債合計	42,997,133
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	1,294,943	固定資産等形成分	166,292,938
インフラ資産	63,989,557	余剰分(不足分)	△ 39,181,787
土地	9,064,930		
建物	1,131,329		
建物減価償却累計額	△ 1,004,458		
工作物	129,698,403		
工作物減価償却累計額	△ 75,311,542		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	410,895		
物品	3,004,400		
物品減価償却累計額	△ 2,278,934		
無形固定資産	76,481		
ソフトウェア	70,714		
その他	5,767		
投資その他の資産	9,573,356		
投資及び出資金	6,089,306		
有価証券	355,108		
出資金	5,734,198		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	86,477		
長期貸付金	766,444		
基金	2,648,338		
減債基金	379,016		
その他	2,269,322		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 17,209		
流動資産	6,762,254		
現金預金	2,644,540		
未収金	43,748		
短期貸付金	-		
基金	2,946,908		
財政調整基金	2,946,908		
減債基金	-		
棚卸資産	1,130,599		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 3,541		
資産合計	170,108,284	純資産合計	127,111,151
		負債及び純資産合計	170,108,284

須賀川市 一般会計等行政コスト計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位：千円)

科目	金額
経常費用	35,217,539
業務費用	20,335,919
人件費	4,480,606
職員給与費	3,557,089
賞与等引当金繰入額	355,973
退職手当引当金繰入額	305,222
その他	262,322
物件費等	15,495,016
物件費	10,730,260
維持補修費	327,092
減価償却費	4,437,664
その他	-
その他の業務費用	360,297
支払利息	175,028
徴収不能引当金繰入額	20,750
その他	164,519
移転費用	14,881,620
補助金等	4,968,026
社会保障給付	6,509,374
他会計への繰出金	3,261,681
その他	142,539
経常収益	582,339
使用料及び手数料	355,518
その他	226,821
純経常行政コスト	34,635,200
臨時損失	2,886,515
災害復旧事業費	914,264
資産除売却損	1,972,251
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	15,196
資産売却益	15,196
その他	-
純行政コスト	37,506,519

須賀川市
一般会計等純資産変動計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位：千円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	132,224,935	172,464,465	△ 40,239,530
純行政コスト(△)	△ 37,506,519		△ 37,506,519
財源	32,379,362		32,379,362
税収等	21,155,227		21,155,227
国県等補助金	11,224,135		11,224,135
本年度差額	△ 5,127,157		△ 5,127,157
固定資産等の変動(内部変動)		△ 6,184,900	6,184,900
有形固定資産等の増加		6,039,075	△ 6,039,075
有形固定資産等の減少		△ 8,544,499	8,544,499
貸付金・基金等の増加		668,751	△ 668,751
貸付金・基金等の減少		△ 4,348,227	4,348,227
資産評価差額	△ 100,458	△ 100,458	
無償所管換等	113,831	113,831	
その他	0	-	-
本年度純資産変動額	△ 5,113,784	△ 6,171,527	1,057,743
本年度末純資産残高	127,111,151	166,292,938	△ 39,181,787

須賀川市 一般会計等資金収支計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位：千円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	30,639,180
業務費用支出	15,757,559
人件費支出	4,378,436
物件費等支出	11,057,352
支払利息支出	175,028
その他の支出	146,743
移転費用支出	14,881,621
補助金等支出	4,968,026
社会保障給付支出	6,509,374
他会計への繰出支出	3,261,681
その他の支出	142,540
業務収入	31,568,526
税込等収入	21,141,245
国県等補助金収入	9,842,640
使用料及び手数料収入	360,905
その他の収入	223,736
臨時支出	914,264
災害復旧事業費支出	914,264
その他の支出	-
臨時収入	287,988
業務活動収支	303,070
【投資活動収支】	
投資活動支出	5,972,092
公共施設等整備費支出	4,973,840
基金積立金支出	424,091
投資及び出資金支出	329,501
貸付金支出	244,660
その他の支出	-
投資活動収入	5,557,754
国県等補助金収入	1,093,507
基金取崩収入	4,018,669
貸付金元金回収収入	329,978
資産売却収入	115,600
その他の収入	-
投資活動収支	△ 414,338
【財務活動収支】	
財務活動支出	2,912,210
地方債等償還支出	2,912,210
その他の支出	-
財務活動収入	3,678,200
地方債等発行収入	3,678,200
その他の収入	-
財務活動収支	765,990
本年度資金収支額	654,722
前年度末資金残高	1,613,362
本年度末資金残高	2,268,084
前年度末歳計外現金残高	349,909
本年度歳計外現金増減額	26,547
本年度末歳計外現金残高	376,456
本年度末現金預金残高	2,644,540

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以後に取得したもの

(ア) 取得原価が判明しているもの……………取得原価

(イ) 取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 取得原価が判明しているもの……………取得原価

イ 取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的有価証券……………償却原価法

② 満期保有目的以外の有価証券

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

イ 市場価格のないもの……………取得原価

③ 出資金

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

イ 市場価格のないもの……………出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行規則第4条第2項第1号によつています。

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

- ② 無形固定資産（リース資産を除きます。）…………定額法
- ③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）
…………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

未収金及び長期延滞債権については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

② 退職手当引当金

本年度末に特別職を含む全職員（本年度末退職者を除きます。）が普通退職した場合の退職手当要支給額を計上しています。

③ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）

なお、現金には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(8) 消費税等の会計処理

税込方式によっています。

(9) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 物品の計上基準

取得価額又は見積価格が50万円以上（美術品は300万円以上）の場合に資産として計上しています。

2 重要な会計方針の変更等

該当なし

3 重要な後発事象

(1) 組織・機構の大幅な変更

該当なし

(2) 地方財政制度の大幅な改正

該当なし

(3) 重大な災害等の発生

令和元年台風19号の暴風雨に伴う災害により発生した原状回復費用等に係る災害復旧事業費は914,264千円です。

4 追加情報

(1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

① 一般会計等財務書類の対象範囲は次のとおりです。

ア 一般会計

イ 市営墓地事業特別会計

② 一般会計等と普通会計の対象範囲等の差異

差異なし

③ 地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、当会計年度に係る出納整理期間（令和2年4月1日～令和2年5月31日）における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

④ 各項目の金額を千円未満で四捨五入して表示しているため、合計等の金額が一致しない場合があります。

⑤ 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の状況

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
—	—	8.6%	55.5%

⑥ 利子補給等に係る債務負担行為の翌年度以降の支出予定額
283千円

⑦ 繰越事業に係る将来の支出予定額

ア 継続費の通次繰越額（一般会計） 1,573,524千円

イ 繰越明許費（一般会計） 9,597,199千円

⑧ 過年度修正等に関する事項

該当なし

(2) 貸借対照表に係る事項

① 売却可能資産の範囲及び内訳は、次のとおりです。

ア 範囲

すべての普通財産

イ 内訳

(ア) 土地 6,696,478千円

(イ) 立木竹 87,483千円

② 減債基金に係る積立不足額

該当なし

③ 基金借入金（繰替運用）

ア 財政調整基金 3,454,723千円

イ 減債基金 378,940千円

ウ 公共施設等整備基金 695,760千円

④ 地方交付税措置のある地方債のうち、将来の普通交付税の算定基礎である基準財政需要額に含まれることが見込まれる金額

38,198,077千円

⑤ 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における将来負担比率の算定要素は、次のとおりです。

ア 一般会計等に係る地方債の現在高 38,637,947千円

イ 債務負担行為に基づく支出予定額 49,644千円

ウ 一般会計等以外の特別会計に係る地方債の償還に充てるための一般会計からの繰入見込額 12,298,895千円

エ 組合等が起こした地方債の償還に係る負担見込額 3,605,394千円

オ	退職手当支給予定額に係る一般会計等負担見込額	4,104,616千円
カ	地方債の償還額等に充当可能な基金	5,891,331千円
キ	地方債の償還等に充当可能な特定の歳入	5,711,747千円

(3) 行政コスト計算書に係る事項

該当なし

(4) 純資産変動計算書に係る事項

純資産における固定資産等形成分及び余剰分（不足分）の内容

① 固定資産等形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

② 余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

(5) 資金収支計算書に係る事項

基礎的財政収支 △3,530,818千円

須賀川市 全体貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	180,755,001	固定負債	49,891,101
有形固定資産	170,796,987	地方債等	42,120,948
事業用資産	88,981,170	長期未払金	-
土地	36,300,521	退職手当引当金	3,890,368
立木竹	87,483	損失補償等引当金	-
建物	86,215,238	その他	3,879,785
建物減価償却累計額	△ 36,230,011	流動負債	4,291,735
工作物	9,862,784	1年内償還予定地方債	3,335,212
工作物減価償却累計額	△ 8,549,788	未払金	129,055
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	380,074
航空機	-	預り金	447,394
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	-		
その他減価償却累計額	-	負債合計	54,182,836
建設仮勘定	1,294,943	【純資産の部】	
インフラ資産	79,198,870	固定資産等形成分	183,701,909
土地	7,727,510	余剰分(不足額)	△ 47,119,408
建物	2,151,206	他団体出資等分	-
建物減価償却累計額	△ 1,453,756		
工作物	154,812,880		
工作物減価償却累計額	△ 86,330,625		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	2,291,655		
物品	8,532,862		
物品減価償却累計額	△ 5,915,915		
無形固定資産	98,604		
ソフトウェア	79,230		
その他	19,374		
投資その他の資産	9,859,410		
投資及び出資金	5,687,863		
有価証券	355,108		
出資金	5,332,755		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	175,632		
長期貸付金	766,444		
基金	3,265,951		
減債基金	379,016		
その他	2,886,935		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 36,480		
流動資産	10,010,336		
現金預金	5,662,897		
未収金	190,553		
短期貸付金	-		
基金	2,946,908		
財政調整基金	2,946,908		
減債基金	-		
棚卸資産	1,154,939		
その他	60,173		
徴収不能引当金	△ 5,134		
繰延資産	-		
資産合計	190,765,337	純資産合計	136,582,501
		負債及び純資産合計	190,765,337

須賀川市 全体行政コスト計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位：千円)

科目	金額
経常費用	49,552,685
業務費用	22,472,941
人件費	4,754,441
職員給与費	3,786,610
賞与等引当金繰入額	377,037
退職手当引当金繰入額	305,222
その他	285,572
物件費等	17,158,954
物件費	11,513,715
維持補修費	446,725
減価償却費	5,193,999
その他	4,515
その他の業務費用	559,546
支払利息	265,352
徴収不能引当金繰入額	41,615
その他	252,579
移転費用	27,079,744
補助金等	4,937,654
社会保障給付	20,644,561
他会計への繰出金	1,354,985
その他	142,544
経常収益	2,175,840
使用料及び手数料	1,776,115
その他	399,725
純経常行政コスト	47,376,845
臨時損失	2,888,415
災害復旧事業費	914,265
資産除売却損	1,974,150
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	15,196
資産売却益	15,196
その他	-
純行政コスト	50,250,064

須賀川市 全体純資産変動計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位：千円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	143,293,304	191,149,135	△ 47,855,831	-
純行政コスト(△)	△ 50,250,064		△ 50,250,064	-
財源	45,159,102		45,159,102	0
税金等	29,296,512		29,296,512	-
国県等補助金	15,862,590		15,862,590	-
本年度差額	△ 5,090,962		△ 5,090,962	0
固定資産等の変動(内部変動)		△ 5,742,748	5,742,748	
有形固定資産等の増加		7,296,140	△ 7,296,140	
有形固定資産等の減少		△ 9,410,722	9,410,722	
貸付金・基金等の増加		748,447	△ 748,447	
貸付金・基金等の減少		△ 4,376,613	4,376,613	
資産評価差額	△ 100,457	△ 100,457		
無償所管換等	△ 1,604,021	△ 1,604,021		
他団体出資等分の増加	0			-
他団体出資等分の減少	0			-
比例連結割合変更に伴う差額	0	-	-	-
その他	84,637	-	84,637	
本年度純資産変動額	△ 6,710,803	△ 7,447,226	736,423	0
本年度末純資産残高	136,582,501	183,701,909	△ 47,119,408	0

須賀川市 全体資金収支計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位：千円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	44,088,623
業務費用支出	17,008,879
人件費支出	4,627,548
物件費等支出	11,898,401
支払利息支出	265,352
その他の支出	217,578
移転費用支出	27,079,744
補助金等支出	4,937,654
社会保障給付支出	20,644,561
他会計への繰出支出	1,354,985
その他の支出	142,544
業務収入	45,869,350
税収等収入	26,150,413
国県等補助金収入	17,558,607
使用料及び手数料収入	1,767,412
その他の収入	392,918
臨時支出	914,265
災害復旧事業費支出	914,265
その他の支出	-
臨時収入	287,988
業務活動収支	1,154,450
【投資活動収支】	
投資活動支出	7,842,763
公共施設等整備費支出	6,849,451
基金積立金支出	503,788
投資及び出資金支出	244,864
貸付金支出	244,660
その他の支出	-
投資活動収入	5,606,363
国県等補助金収入	1,113,730
基金取崩収入	4,047,055
貸付金元金回収収入	329,978
資産売却収入	115,600
その他の収入	-
投資活動収支	△ 2,236,400
【財務活動収支】	
財務活動支出	3,246,907
地方債等償還支出	3,246,907
その他の支出	-
財務活動収入	4,497,000
地方債等発行収入	4,497,000
その他の収入	-
財務活動収支	1,250,093
本年度資金収支額	168,143
前年度末資金残高	5,118,298
本年度末資金残高	5,286,441
前年度末歳計外現金残高	349,909
本年度歳計外現金増減額	26,547
本年度末歳計外現金残高	376,456
本年度末現金預金残高	5,662,897

全体財務書類における注記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以後に取得したもの

(ア) 取得原価が判明しているもの……………取得原価

(イ) 取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的有価証券……………償却原価法

② 満期保有目的以外の有価証券

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

イ 市場価格のないもの……………取得原価

③ 出資金

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

イ 市場価格のないもの……………出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行規則第4条第2項第1号によっています。

ただし、水道事業会計においては、移動平均法による原価法によっています。

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内の

リース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。)

……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

未収金及び長期延滞債権については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

② 退職手当引当金

本年度末に特別職を含む全職員（本年度末退職者を除きます。）が普通退職した場合の退職手当要支給額を計上しています。

③ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。)

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）

なお、現金には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(8) 消費税等の会計処理

税込方式によっています。

ただし、水道事業会計においては、税抜方式によっています。

2 重要な会計方針の変更等

該当なし

3 重要な後発事象

(1) 組織・機構の大幅な変更

該当なし

(2) 地方財政制度の大幅な改正

該当なし

(3) 重大な災害等の発生

令和元年台風19号の暴風雨に伴う災害により発生した原状回復費用等に係る災害復旧事業費は、914,265千円です。

4 追加情報

(1) 全体財務書類の対象範囲

ア 一般会計

イ 市営墓地事業特別会計

ウ 国民健康保険特別会計

エ 介護保険特別会計

オ 後期高齢者医療特別会計

カ 特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計

キ 水道事業会計

(2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、当会計年度に係る出納整理期間（令和2年4月1日～令和2年5月31日）における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない会計と出納整理期間を設けている会計との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

(3) 表示単位未満の取扱い

各項目の金額を千円未満で四捨五入して表示しているため、合計等の金額が一致しない場合があります。

(4) 売却可能資産の範囲及び内訳は、次のとおりです。

ア 範囲

すべての普通財産

イ 内訳

(ア) 土地 6,696,478千円

(イ) 立木竹 87,483千円

須賀川市 連結貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	196,024,752	固定負債	58,644,254
有形固定資産	187,182,177	地方債等	46,805,815
事業用資産	103,017,092	長期未払金	-
土地	36,316,646	退職手当引当金	5,280,021
立木竹	87,483	損失補償等引当金	-
建物	101,525,424	その他	6,558,418
建物減価償却累計額	△ 38,268,596	流動負債	6,744,502
工作物	11,782,442	1年以内償還予定地方債	3,738,364
工作物減価償却累計額	△ 9,726,908	未払金	1,945,686
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	1,553
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	560,571
航空機	-	預り金	498,175
航空機減価償却累計額	-	その他	153
その他	92,987	負債合計	65,388,756
その他減価償却累計額	△ 87,329	【純資産の部】	
建設仮勘定	1,294,943	固定資産等形成分	199,075,989
インフラ資産	80,814,771	余剰分(不足額)	△ 56,460,537
土地	7,727,510	他団体出資等分	-
建物	7,559,649		
建物減価償却累計額	△ 5,246,298		
工作物	154,812,880		
工作物減価償却累計額	△ 86,330,625		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	2,291,655		
物品	11,878,007		
物品減価償却累計額	△ 8,527,693		
無形固定資産	109,447		
ソフトウェア	88,660		
その他	20,787		
投資その他の資産	8,733,128		
投資及び出資金	4,578,709		
有価証券	355,108		
出資金	4,223,601		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	176,129		
長期貸付金	266,444		
基金	3,748,318		
減債基金	379,016		
その他	3,369,302		
その他	8		
徴収不能引当金	△ 36,480		
流動資産	11,979,290		
現金預金	6,778,630		
未収金	900,966		
短期貸付金	-		
基金	3,051,071		
財政調整基金	3,051,071		
減債基金	-		
棚卸資産	1,175,870		
その他	77,888		
徴収不能引当金	△ 5,135		
繰延資産	166		
資産合計	208,004,208	純資産合計	142,615,452
		負債及び純資産合計	208,004,208

須賀川市 連結行政コスト計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位：千円)

科目	金額
経常費用	62,251,128
業務費用	30,547,904
人件費	8,715,989
職員給与費	6,911,158
賞与等引当金繰入額	538,773
退職手当引当金繰入額	311,677
その他	954,381
物件費等	20,759,745
物件費	13,928,706
維持補修費	766,252
減価償却費	6,057,947
その他	6,840
その他の業務費用	1,072,170
支払利息	328,395
徴収不能引当金繰入額	41,615
その他	702,160
移転費用	31,703,224
補助金等	10,240,950
社会保障給付	19,957,576
他会計への繰出金	1,354,985
その他	149,713
経常収益	7,409,611
使用料及び手数料	6,036,152
その他	1,373,459
純経常行政コスト	54,841,517
臨時損失	2,997,988
災害復旧事業費	928,316
資産除売却損	1,974,150
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	95,522
臨時利益	47,538
資産売却益	15,196
その他	32,342
純行政コスト	57,791,967

須賀川市 連結純資産変動計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位:千円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	150,249,659	207,334,646	△ 57,084,987	-
純行政コスト(△)	△ 57,791,967		△ 57,791,967	-
財源	51,793,407		51,793,407	0
税金等	28,771,128		28,771,128	-
国県等補助金	23,022,279		23,022,279	-
本年度差額	△ 5,998,560		△ 5,998,560	0
固定資産等の変動(内部変動)		△ 6,389,575	6,389,575	
有形固定資産等の増加		7,523,827	△ 7,523,827	
有形固定資産等の減少		△ 10,477,110	10,477,110	
貸付金・基金等の増加		944,706	△ 944,706	
貸付金・基金等の減少		△ 4,380,998	4,380,998	
資産評価差額	△ 100,458	△ 100,458		
無償所管換等	△ 1,756,008	△ 1,756,008		
他団体出資等分の増加	0			-
他団体出資等分の減少	0			-
比例連結割合変更に伴う差額	13,090	△ 12,616	25,706	-
その他	207,729		207,729	
本年度純資産変動額	△ 7,634,207	△ 8,258,657	624,450	0
本年度末純資産残高	142,615,452	199,075,989	△ 56,460,537	0

須賀川市 連結資金収支計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位:千円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	55,951,750
業務費用支出	24,247,433
人件費支出	8,594,276
物件費等支出	14,901,019
支払利息支出	328,395
その他の支出	423,743
移転費用支出	31,704,317
補助金等支出	10,240,950
社会保障給付支出	19,957,577
他会計への繰出支出	1,354,985
その他の支出	150,805
業務収入	57,504,060
税込等収入	25,345,594
国県等補助金収入	24,723,845
使用料及び手数料収入	6,071,295
その他の収入	1,363,326
臨時支出	928,506
災害復旧事業費支出	928,506
その他の支出	-
臨時収入	287,988
業務活動収支	911,792
【投資活動収支】	
投資活動支出	8,005,090
公共施設等整備費支出	7,067,701
基金積立金支出	692,729
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	244,660
その他の支出	-
投資活動収入	5,612,384
国県等補助金収入	1,118,164
基金取崩収入	4,048,556
貸付金元金回収収入	329,978
資産売却収入	115,686
その他の収入	-
投資活動収支	△ 2,392,706
【財務活動収支】	
財務活動支出	3,629,365
地方債等償還支出	3,584,822
その他の支出	44,543
財務活動収入	4,968,734
地方債等発行収入	4,752,612
その他の収入	216,122
財務活動収支	1,339,369
本年度資金収支額	△ 141,545
前年度末資金残高	6,539,433
比例連結割合変更に伴う差額	4,565
本年度末資金残高	6,402,453
前年度末歳計外現金残高	345,189
本年度歳計外現金増減額	30,988
本年度末歳計外現金残高	376,177
本年度末現金預金残高	6,778,630

連結財務書類における注記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以後に取得したもの

(ア) 取得原価が判明しているもの……………取得原価

(イ) 取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的有価証券……………償却原価法

② 満期保有目的以外の有価証券

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

イ 市場価格のないもの……………取得原価

③ 出資金

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

イ 市場価格のないもの……………出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行規則第4条第2項第1号によっています。

ただし、一部の連結対象団体においては、移動平均法による原価法によっています。

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内の

リース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。)

……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

未収金及び長期延滞債権については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

② 退職手当引当金

本年度末に特別職を含む全職員（本年度末退職者を除きます。）が普通退職した場合の退職手当要支給額を計上しています。

③ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）

なお、現金には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(8) 消費税等の会計処理

税込方式によっています。

ただし、一部の連結対象団体においては、税抜方式によっています。

(9) 連結対象団体の決算日が一般会計等と異なる場合の処理

決算日と連結決算日の差異が3か月を超えない連結対象団体については当該連結対象団体の決算を基礎として連結手続を行っていますが、決算日と連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っています。

2 重要な会計方針の変更等

該当なし

3 重要な後発事象

(1) 組織・機構の大幅な変更

該当なし

(2) 地方財政制度の大幅な改正

該当なし

(3) 重大な災害等の発生

令和元年台風19号の暴風雨に伴う災害により発生した原状回復費用等に係る災害復旧事業費は928,316千円です。

4 追加情報

(1) 連結財務書類の対象範囲

- ア 一般会計
- イ 市営墓地事業特別会計
- ウ 国民健康保険特別会計
- エ 介護保険特別会計
- オ 後期高齢者医療特別会計
- カ 特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計
- キ 水道事業会計
- ク 公立岩瀬病院企業団
- ケ 須賀川地方保健環境組合
- コ 須賀川地方広域消防組合
- サ 福島県市町村総合事務組合
- シ 福島県市民交通災害共済組合
- ス 福島県後期高齢者医療広域連合
- セ (公財) 須賀川市スポーツ振興協会
- ソ (公財) ふくしま科学振興協会

タ (公財) 須賀川市農業公社

チ (株) こぷろ須賀川

(2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、当会計年度に係る出納整理期間（令和2年4月1日～令和2年5月31日）における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない会計と出納整理期間を設けている会計との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

(3) 表示単位未満の取扱い

各項目の金額を千円未満で四捨五入して表示しているため、合計等の金額が一致しない場合があります。

(4) 売却可能資産の範囲及び内訳は、次のとおりです。

ア 範囲

すべての普通財産

イ 内訳

(7) 土地 6,696,478千円

(1) 立木竹 87,483千円

【財務書類の科目説明】

1 貸借対照表

貸借対照表左側（借方）の科目	科目の説明
【資産の部】	自治体が所有する財産や権利
固定資産	土地や建物で1年を超えて利用する資産
有形固定資産	固定資産のうち目に見える資産
事業用資産	インフラ資産及び物品以外の有形固定資産
土地	庁舎、福祉施設、教育施設などの土地
立木竹	地面から生えている立木と立竹
建物	庁舎、福祉施設、教育施設など
建物減価償却累計額	建物に計上した減価償却費の累計額
工作物	プール、テニスコート、ごみ処理施設など
工作物減価償却累計額	工作物に計上した減価償却費の累計額
船舶	水上を航行する乗り物
船舶減価償却累計額	船舶に計上した減価償却費の累計額
浮標等	浮標、浮棧橋など
浮標等減価償却累計額	浮標等に計上した減価償却費の累計額
航空機	人が乗って空を飛ぶことができる乗り物
航空機減価償却累計額	航空機に計上した減価償却費の累計額
その他	事業用資産のうち勘定科目がない資産
その他減価償却累計額	その他（事業用資産）に計上した減価償却費の累計額
建設仮勘定	建設または製作途中の事業用資産
インフラ資産	道路、河川、公園、防災（消防施設は除く）、上下水道施設に限定される資産
土地	インフラ資産施設の底地
建物	インフラ資産施設の建物
建物減価償却累計額	建物に計上した減価償却費の累計額
工作物	道路、公園、橋りょう、下水道など
工作物減価償却累計額	工作物に計上した減価償却費の累計額
その他	インフラ資産のうち勘定科目がない資産
その他減価償却累計額	その他（インフラ資産）に計上した減価償却費の累計額
建設仮勘定	建設または製作途中のインフラ資産
物品	車両、事務用機器、美術品など
物品減価償却累計額	物品に計上した減価償却費の累計額
無形固定資産	物的な存在形態をもたない資産、地上権、著作権、特許権など
ソフトウェア	研究開発費に該当しないソフトウェア制作費
その他	ソフトウェアを除く無形固定資産
投資その他の資産	投資及び出資金、長期延滞債権、長期貸付金、基金、徴収不能引当金など
投資及び出資金	有価証券、出資金など
有価証券	株券、公債証券などの債権など
出資金	公有財産として管理されている出資など
その他	有価証券、出資金を除く投資及び出資金
投資損失引当金	投資及び出資金の実質価額が著しく低下した場合に計上する引当金
長期延滞債権	滞納繰越調定収入未済分
長期貸付金	貸付金のうち流動資産に区分されるもの以外
基金	流動資産に区分される基金以外の基金
減債基金	地方債償還のための積立金で流動資産に区分されるもの以外
その他	減債基金及び財政調整基金以外の基金
その他	上記以外のその他の資産
徴収不能引当金	長期延滞債権の徴収不能実績率などにより算定した引当金

貸借対照表左側（借方）の科目	科目の説明
流動資産	通常1年以内に現金化及び費用化できる資産
現金預金	現金及び預金、歳計外現金
未収金	現年度に調定し現年度収入未済のもの
短期貸付金	貸付金のうち翌年度に償還期限が到来するもの
基金	財政調整基金および減債基金のうち流動資産に区分されるもの
財政調整基金	財政の健全な運営のための積立金
減債基金	地方債償還のための積立金
棚卸資産	売買を目的として保有する資産（分譲宅地）
その他	上記及び徴収不能引当金以外の流動資産
徴収不能引当金	未収金の徴収不能実績率などにより算定した引当金

貸借対照表右側（貸方）の科目	科目の説明
【負債の部】	返済する必要がある金額
固定負債	支払期限が1年を超えて到来する負債
地方債等	主に地方債のうち、償還予定が1年超のもの
長期未払金	債務負担行為で確定債務とみなされるもの及びその他の確定債務のうち流動負債に区分されるもの以外のもの
退職手当引当金	年度末に全職員が退職した場合に支払うべき金額
損失補償等引当金	第三セクター等の債務のうち、将来自治体の負担となる可能性がある場合の引当金
その他	上記以外の固定負債
流動負債	支払期限が1年以内に到来する負債
1年内償還予定地方債等	地方債のうち、翌年度償還を予定しているもの
未払金	支払義務が確定している金額のうち、未払いのもの
未払費用	支払確定が到来していないが、既に提供された役務に対して未払の金額
前受金	代金の納入は受けているが、これに対する義務の履行を行っていない金額
前受収益	未だ提供していない役務に対して支払を受けた金額
賞与等引当金	翌年度支払うことが予定されている賞与等のうち、当該年度負担分の金額
預り金	歳計外現金の残高
その他	上記以外の流動負債
【純資産の部】	現在までの世代が負担した金額で、返済する必要がない財源
固定資産等形成分	固定資産形成のために充当した資源の蓄積 自治体が調達した資源を充当して資産形成を行った場合で、その資産の残高（減価償却累計額の控除後）
余剰分（不足分）	自治体の費消可能な資源の蓄積をいい、原則として金銭の形態で保有しているもので、マイナスの場合が多いが、この場合は基準日時点における将来金銭必要額を示している

2 行政コスト計算書

行政コスト計算書の科目	科目の説明
経常費用	毎会計年度、経常的に発生する費用
業務費用	
人件費	
職員給与費	職員等に対して勤労の対価や報酬として支払われる費用
賞与等引当金繰入額	賞与等引当金の当該会計年度発生額
退職手当引当金繰入額	退職手当引当金の当該会計年度発生額
その他	上記以外の人件費
物件費等	
物件費	旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、消耗品や備品購入費といった消費的性質の経費であり、資産計上されないもの

行政コスト計算書の科目	科目の説明
維持補修費	資産の機能維持のために必要な修繕費など
減価償却費	使用による摩耗や時間経過に伴う資産の価値減少額
その他	上記以外の物件費
その他の業務費用	
支払利息	地方債などにかかる支払利息の支出
徴収不能引当金繰入額	徴収不能引当金の当該会計年度発生額
その他	上記以外のその他の業務費用
移転費用	経常的に発生する非対価性の支出
補助金等	各種団体への補助金など
社会保障給付	社会保障給付としての扶助費など
他会計への繰出金	他会計への繰出金
その他	上記以外の移転費用
経常収益	毎会計年度、経常的に発生する収益
使用料及び手数料	地方公共団体がその活動として一定の財やサービスを提供する場合にその対価として使用料及び手数料の形態で徴収する金銭
その他	上記以外の経常収益
純経常行政コスト	経常費用から経常収益を差し引いた行政コスト
臨時損失	臨時に発生するもの
災害復旧事業費	災害復旧にかかる費用
資産除売却損	資産の売却による収入が帳簿価額を下回る場合の差額、または、除却した資産の除却時の帳簿価額
投資損失引当金繰入額	投資損失引当金の当該会計年度発生額
損失補償等引当金繰入額	損失補償等引当金の当該会計年度発生額
その他	上記以外の臨時損失
臨時利益	臨時に発生する利益
資産売却益	資産の売却による収入が帳簿価額を上回る場合の差額
その他	上記以外の臨時利益
純行政コスト	すべての費用からすべての収益を差し引いた行政コスト

3 純資産変動計算書

純資産変動計算書の科目	科目の説明
前年度末純資産残高	前年度末の純資産残高
純行政コスト(△)	行政コスト計算書で計算された費用に対する財源措置
財源	純資産の財源
税収等	地方税、地方交付税及び地方譲与税など
国県等補助金	国庫支出金及び県支出金など
本年度差額	財源から純行政コストを差し引いた額
固定資産等の変動(内部変動)	有形固定資産等の増加や減少、貸付金・基金等の増加や減少の内容の再掲
有形固定資産等の増加	有形固定資産及び無形固定資産の形成による保有資産の増加額または有形固定資産及び無形固定資産の形成のために支出した額
有形固定資産等の減少	有形固定資産及び無形固定資産の減価償却費相当額及び除売却による減少額または有形固定資産及び無形固定資産の売却収入(元本分)、除却相当額
貸付金・基金等の増加	貸付金・基金等の形成による保有資産の増加額または新たな貸付金・基金等のために支出した額

純資産変動計算書の科目	科目の説明
貸付金・基金等の減少	貸付金の償還及び基金の取崩などによる減少額または貸付金の償還収入及び基金の取崩収入相当額
資産評価差額	有価証券などの評価差額
無償所管換等	無償で譲渡または取得した固定資産の評価額
その他	上記以外の純資産及びその内部構成の過年度変動額など
本年度純資産変動額	「本年度差額」＋「資産評価差額」＋「無償所管換等」＋「その他」
本年度末純資産残高	「前年度末純資産残高」＋「本年度純資産変動額」
固定資産等形成分	余剰分（不足分）が使用されて固定資産等に転化したもので、余剰分（不足分）が将来世代の利用可能な資産の形に変化したもの
余剰分（不足分）	税收等や国県等補助金のほか、費用の定義に該当しない資本的支出等に関連する資源の流出入（地方債など）

4 資金収支計算書

資金収支計算書の科目	科目の説明
【業務活動収支】	
業務支出	
業務費用支出	
人件費支出	議員報酬、職員給料、退職金などの支出
物件費等支出	物件費や維持補修費などの支出
支払利息支出	地方債などにかかる支払利息の支出
その他の支出	上記以外の業務費用支出
移転費用支出	経常的に発生する非対価性の支出
補助金等支出	各種団体への補助金などにかかる支出
社会保障給付支出	社会保障給付としての扶助費などにかかる支出
他会計への繰出支出	他会計への繰出にかかる支出
その他の支出	上記以外の移転費用支出
業務収入	
税收等収入	住民税や固定資産税などの収入
国県等補助金収入	国県等補助金のうち業務支出の財源に充当した収入
使用料及び手数料収入	地方公共団体がその活動として一定の財やサービス提供の対価による収入
その他の収入	上記以外の業務収入
臨時支出	
災害復旧事業費支出	災害復旧事業費にかかる支出
その他の支出	上記以外の臨時支出
臨時収入	
業務活動収支	（「業務収入」－「業務支出」）＋（「臨時収入」－「臨時支出」）
【投資活動収支】	
投資活動支出	
公共施設等整備費支出	有形固定資産の形成にかかる支出
基金積立金支出	基金の積立てにかかる支出
投資及び出資金支出	投資及び出資金にかかる支出
貸付金支出	貸付金にかかる支出
その他の支出	上記以外の投資活動支出
投資活動収入	
国県等補助金収入	国県等補助金のうち投資活動支出の財源に充当した収入
基金取崩収入	基金の取崩しによる収入

資金収支計算書の科目	科目の説明
貸付金元金回収収入	貸付金の元金回収による収入
資産売却収入	資産の売却による収入
その他の収入	上記以外の投資活動収入
投資活動収支	「投資活動収入」－「投資活動支出」
【財務活動収支】	
財務活動支出	
地方債等償還支出	地方債などの償還にかかる支出
その他の支出	上記以外の財務活動支出
財務活動収入	
地方債等発行収入	地方債などの発行による収入
その他の収入	上記以外の財務活動収入
財務活動収支	「財務活動収入」－「財務活動支出」
本年度資金収支額	「業務活動収支」＋「投資活動収支」＋「財務活動収支」
前年度末資金残高	前年度末の資金残高
本年度末資金残高	「本年度資金収支額」＋「前年度末資金残高」
前年度末歳計外現金残高	前年度末の歳計外現金の残高
本年度歳計外現金増減額	本年度の歳計外現金の増減額
本年度末歳計外現金残高	「前年度末歳計外現金残高」＋「本年度歳計外現金増減額」
本年度末現金預金残高	「本年度末資金残高」＋「本年度末歳計外現金残高」